

第2回「地方公共団体における統計利活用表彰」の受賞団体の決定

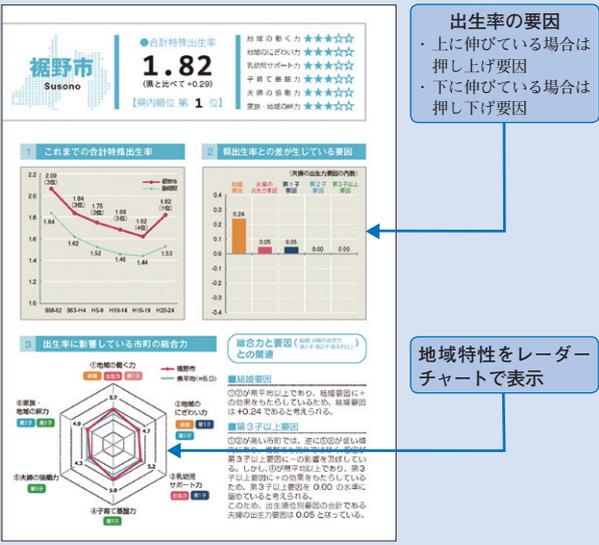
総務省では、客観的な統計データに基づく確かつ効率的な行政運営を促進する観点から、地方公共団体における統計データの利活用を推進することを目的として、第2回「地方公共団体における統計利活用表彰」を実施しました。

厳正な審査の結果、総務大臣賞、統計局長賞及び特別賞を決定し、第67回全国統計大会（11月13日）で表彰しました。以下で各受賞団体の取組を御紹介します。

【総務大臣賞：静岡県】

ふじのくにに少子化突破戦略の羅針盤

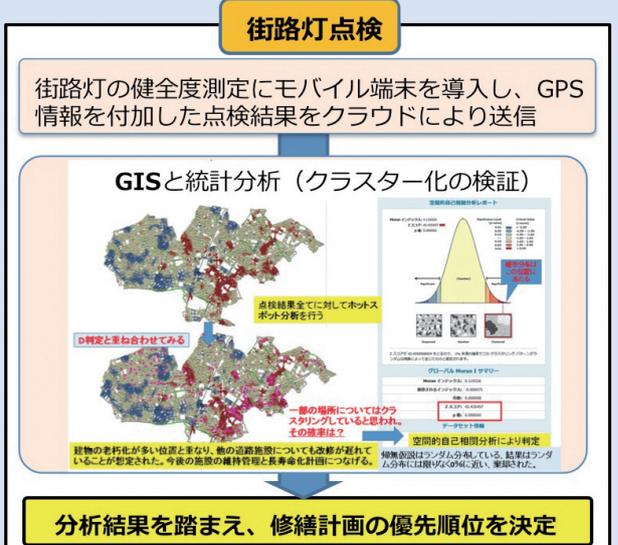
地域の特性や施策の実施状況など合計特殊出生率に影響を与える要因を市町別に分析し、分析結果を「見える化」



【統計局長賞：東京都豊島区】

GISポータル構築による業務改善

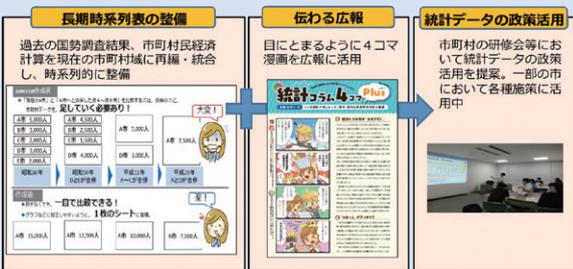
地図上に様々な情報を組み合わせて表示するGIS※の仕組みと統計分析を活用し、業務の効率化等を実現
 ※ GIS：Geographic Information System（地理情報システム）の略



【特別賞：茨城県】

いばらき型「ターゲットに訴求する統計データマイニング」

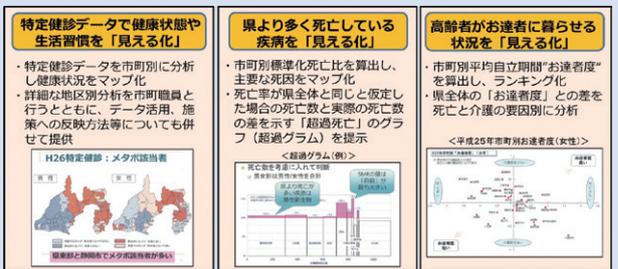
現在の市町村域に合併前のデータを再編・統合し、時系列的に整理。さらに「4コマ漫画」などによる「伝わる」広報を行い、データの政策活用を推進



【特別賞：静岡県】

健康課題の「見える化」～検診結果65万人ビッグデータをマップ化～

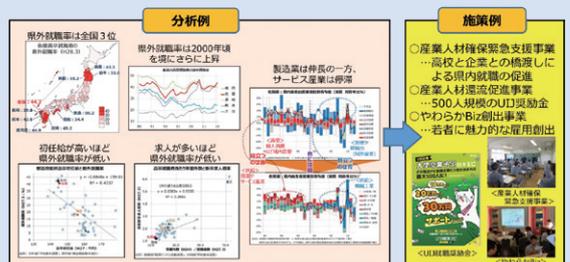
人口動態統計や特定健診データを複合的に市町別に分析し、生活習慣病や主要な死因、平均自立期間（お達者度）等を「見える化」



【特別賞：佐賀県】

「人材流出県」からの脱却へ向けた産業人材の定着・還流プロジェクト

高卒者の「人材流出」の要因・背景を統計データを用いて分析し、その結果を踏まえた施策を実施



国連アジア太平洋統計研修所

第 2 回「ポスト2015開発目標のモニタリングに係る統計の作成能力の向上」コースの実地研修について

国連アジア太平洋統計研修所とは

国連アジア太平洋統計研修所 (SIAP) は、開発途上国の政府統計職員を養成することなどを目的とした、国連アジア太平洋経済社会委員会 (ESCAP) の補助機関です。千葉県千葉市にあり、総務省が招請国政府の協力機関となっています。1970年の設立以来、アジア太平洋諸国だけでなく、アフリカや中南米も含めた、世界中の政府統計職員約 1 万 6000 人を養成してきました。

第 2 回「ポスト 2015 開発目標のモニタリングに係る統計の作成能力の向上」コースの実地研修の実施

このコースは、持続可能な開発目標 (SDGs) の達成状況のモニタリングと評価に不可欠なタイムリーかつ精度の高い公的統計の整備・充実を図る見地から、アジア太平洋地域等の開発途上国の政府統計職員に対して、統計調査の設計・分析・公表における基礎理論と実務及び主要な公的統計 (経済、人口・社会、農業、環境) の作成・解釈の基準や枠組みについて研修を行い、知識及び公的統計の作成能力を向上させることを目的としています。今年度は、バングラデシュ、カメルーン、コンゴ民主共和国、ガーナ、インドネシア、イラク、キルギス、ラオス、マレーシア、ミャンマー、サモア、ソロモン諸島、スーダン、タジキスタン、東ティモールの 15 か国から 26 名の研修員が参加しています。

本研修コースの一環として、北海道及び宮城県の 2 班に分かれ、道県の協力を得て、平成 29 年 11 月 13 日 (月)～15 日 (水) の 3 日間にわたり、地方公共団体における統計業務についての研修、家計調査世帯への訪問などを行いました。

◆ 北海道 実地研修日程 ◆

11月13日 (月)

村上北海道情報統計局長表敬、道勢概要、業務概要、家計調査の概要説明、統計課執務室視察



統計課執務室視察

11月14日 (火)

家計調査世帯訪問、施設訪問、質疑応答、意見交換会



調査区視察

11月15日 (水)

事業所・施設訪問



施設訪問

◆ 宮城県 実地研修日程 ◆

11月13日 (月)

山田宮城県副知事表敬、県勢概要、業務概要、家計調査の概要説明、統計課執務室視察



副知事表敬

11月14日 (火)

施設訪問、家計調査世帯訪問、質疑応答、意見交換会



家計調査世帯訪問

11月15日 (水)

事業所・施設訪問



施設訪問